

2月1日 15時～ 本多流鳴弦（めいげん）の儀

鳴弦は弓弦を鳴らし弓矢の威徳によって魔を払う儀式です。

鳴弦の由来です。堀河天皇が毎夜、物の怪に怯えておられたところ、

宿直を命じられた源八幡太郎義家が

弓弦を三度鳴らし、「前陸奥守源義家」と呼ばわりました。

これに恐れをなした物の怪は退散し、堀河天皇の御惱が消え去った

というものです。

水無瀬神宮追儺御弓神事においては、本多流四世本多利永宗家が、本多流流祖本多利實から代々伝わる本多流鳴弦の儀を執り行うものです。

2月1日 16時頃より

破魔射（はまい）の儀

破魔射の儀とは、古事記にちなんでおり、敵に中たることを神に祈請し、神聖な矢である斎矢（いわいや）をつつしんで的に射ることで、魔を調伏する水無瀬神宮追儺弓神事ならではの儀式です。

的の裏側と表側に記された鬼に向け、本多流門弟と大阪青凌高校の生徒が矢を射込みます。

矢を射込んだ後は、的に書かれた鬼の文字を、神宮の神官が的に塗り込め、完全に魔を封じます。

破魔射（はまい）の儀終了後 16時半頃

本多流蟇目（ひきめ）の儀

蟇目は音の出る蟇目鏑を付けた矢を放ち魔を退散させる儀式です。

蟇目の由来は二条天皇のころ、鶴という怪鳥が禁中に鳴いて、しばしば天皇の御心を悩ます事があった。源三位頼政が御所に召し出され、蟇目鏑矢をもって御所の闇空にいる鶴を成敗したことによります。

水無瀬神宮追儺弓神事においては、本多流門弟・免許允許 指月庵 尾木義堂が、本多流に代々伝わる本多流蟇目の儀を執り行います。

本多流について

本多流は明治の中頃、本多利實翁が日置流竹林派から出て、古来からの射を改め、武道と体育の調和を主眼として從来の斜面打起を正面打起とし、儀礼を取り入れたのと同時に、姿勢の左右均衡を計ったものです。利實翁は東京帝国大学をはじめとし多くの学校の弓道師範をやっておられました。

翁の高邁な識見と円熟した技術とを敬慕する門人が雲集し、これら門人が翁の教えを広め、翁の射法は全国弓道界を風靡することとなりました。大正六年に本多利實翁が他界した後、嫡孫利時氏が二世宗家となり、その後、昭和の中頃より三世利生氏が、そして、平成の初めから令和の現在は四世本多利永氏が本多流宗家を継承されています。



2月1日 13時～

白拍子奉納

白拍子（しらびょうし）は、院政期から鎌倉時代にかけて流行した歌舞で、女性芸能者が男装して白拍子のリズムに乗せて歌いながら舞う、当時きわめて先進的な芸能でした。

静と動、祈りと芸が一体となったその姿は、武家や貴族の心を魅了しましたが、時代の変遷とともに次第に姿を消し、「幻の芸能」となりました。



白拍子研究所は、史料研究と実践を重ね、この失われた白拍子を現代に甦らせる活動を行っています。神社仏閣での奉納を中心に、講座や茶会など多彩な場で披露される舞は、単なる再現にとどまらず、祈りの芸能としての本質を今に伝えます。

奉納舞を通じて、古の息吹と日本文化の奥深さを感じていただければ幸いです。

後鳥羽院 終焉の地 海士町より

水無瀬神宮



節分祭

隠岐の海士町より来訪いただき、後鳥羽院を描く劇を演じていただきます
島外では初上演
800年間想いを送り合ってきた両地がつながります

1月31日(土) 予約不要 無料 舞台 水無瀬神宮 客殿

島民劇 午前 11時～11時半
交流タイム ～12時頃まで

※劇の観覧席は屋外です。
※交流タイムは天候や人数により
神徳館になる場合があります

募集 パネルディスカッション観覧者 (要予約・無料・先着順・10名程度)

島民劇上演前に、隠岐と水無瀬の方々による「島の文化会議」があります。
観覧ご希望のかたは、下記連絡先までメールまたは電話でお申し込みください。

テーマ「隠岐ごとばんさん芸術文化祭への道 隠岐と後鳥羽院から考える」

時間：10時～11時

会場：水無瀬神宮 客殿 (屋内)

パネラー：隠岐神社禰宜・水無瀬神宮禰宜・島の文化事業関係者の方々

※徳島より土御門院関係活動の方々も観覧予定

申込み問合せ先：✉ minaserikyuken@gmail.com TEL 090-9275-2641 (やぶき)

主催 後鳥羽院顕彰事業実行委員会

後援 東芝国際交流財団

1月31日 15時～

奉納 能 能楽体験

能楽奉納 番組

・祝言謡『高砂 四海波』

謡:山田薰、梅若雄一郎

・独鼓『東北』

謡:山田薰、梅若雄一郎

大鼓:山本寿弥

・仕舞『笠之段』 山田薰

『菊慈童』 梅若雄一郎

・独鼓『養老』

謡:山田薰、梅若雄一郎

太鼓:井上敬介



能楽は 650 年の長きにわたり演じられてきた日本が誇る舞台芸術です。

謡(うたい)、舞、囃子で構成された世界最古のミュージカルとも言われます。大きな特徴である美しい能面や装束も魅力満載です。

様々な演目がありますが、能楽を含めたあらゆる芸能は神仏を敬い、魂を鎮める「祝い」と「祈り」がルーツです。

此度節分際におきましては御祭神 後鳥羽上皇そしてこの水無瀬の土地にちなんだ

「菊」「水」「和歌」

にまつわる演目を能楽の一番シンプルな演技形式にて奉納させていただきます。

1月31日 17:00～17:15 ・ 17:45～18:00



スペシャルゲスト、プロシャボラーの
しゃぼたあわおさんです。

関西テレビ『よーいどん！』で

人間国宝さん認定された子供たちに大人気のシャボン玉パフォーマーです。

インスタグラムもやってますので、フォローをお願い致します！！



ご自身で研究を重ねたオリジナルのシャボン玉液で、シャワーのようなシャボン玉や、巨大なシャボン玉などを飛ばし子供たちだけではなく大人までもを魅了させてくれます。ぜひ、しゃぼたあわおさんのシャボン玉をお楽しみください。



1月31日 18時～ 津軽三味線奉納

徳田 恵美

高槻市出身。



2002年より津軽三味線を始める。

本場青森へ行く等をして、本格的に津軽三味線を勉強する。

2007年から全国大会に出場し、数々の大会で入賞するなどの成績をおさめる。

現在の活動は、イベント、祝賀会、記念パーティ、保育園、老人施設慰問演奏会、敬老会、カラオケ大会友情出演、生カラオケ大会のバックミュージシャンとの共演、夏祭り等、大阪府、京都、滋賀県を中心に精力的に活動中。

【主な受賞履歴】

2012年 青森県黒石市 第一回本場津軽民謡全国大会 津軽三味線部門 初代チャンピオン (優勝)

第1回津軽三味線津軽民謡全国大会～日本の真ん中フェスティバル in びわ湖 (滋賀県) 一般女子の部 優勝

第12回全国津軽三味線コンクール大阪大会 一般女性の部 準優